

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	橋りょう耐震整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	5	10	2	40,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	41 災害対策の推進											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 飯田市防災計画						
		事業期間	15	年度～	21	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値				
	防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋。	対象橋梁数(調査箇所)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする	
			6	45			
	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度					
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
	地震発生時、落橋等を防止する。	工事施工橋数(箇所)	18目標	7	最終目標	35	
			18実績	4	19目標	7	↑
			23目標		23実績		最終目標達成年度
			18目標		最終目標		
			18実績		19目標		↑
23目標				23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	長野県及び飯田市の防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋梁の耐震整備。 一次調査の結果をうけ、詳細設計及び補強工事を実施。 全50橋	・年次計画に基づいて一次調査、詳細設計を行い事業を実施するが、今後、橋梁台帳の整備により、橋梁の構造ごとの工法の把握を可能とする。 一次調査及び詳細設計16橋、補強工事4橋	対象橋数(調査箇所)	16箇所
	18年度の実績	劣化度調査及び詳細設計 6橋 補強工事 7橋	対象橋数(調査箇所)	6箇所
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	33,100	36,000
	その他		
一般財源	6,900	4,000	
事業費計(A)	40,000	40,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 3,200	19年度
	臨時職員等所要時間	33	
	人件費計(B)	11,479	0
	トータルコストA+B	51,479	40,000

特定財源内訳や補足事項	防災対策事業債(公共施設等耐震化事業) 充当率90% 算入50%
-------------	----------------------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	災害や火災の被害を軽減する。	市民が災害にそなえている割合	現状値	40.1	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	火災発生件数		現状値	63	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

この事業を開始したきっかけ 県指定震災対策緊急輸送路網の整備及び市指定輸送路網整備計画により必要性が高まったため。	事業を取り巻く状況の変化 平成8年・平成14年と耐震設計が見直され落橋防止、変位制限等装置をつけていく必要性が高まっている。	事業に対する市民や議会の意見 議会からも強い要望がある。
--	---	---------------------------------

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 緊急輸送路の確保と災害対策の強化に結びつく。	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 地震対策強化区域であり早期完成が必要である。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 緊急時の輸送路の確保が最優先であり、飯田市の防災計画に指定されている緊急輸送路に関わる橋梁を対象としている。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) 災害時緊急輸送路の確保が困難となる恐れがある。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 緊急時輸送路の確実な確保が必要である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由) 類似事業がなく、統合も不可能である。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 国道・県道・幹線・一般道を結ぶ市の管理する橋梁であるため。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 可能 (その理由) 落橋防止等安全性が確保される工法の検討。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 不特定多数が利用する公共の橋梁であり負担金はなし。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 実施年度 具体化	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 1次調査を実施し、耐震・補強工事の必要箇所の詳細設計を行う。落橋防止工事だけでなく、橋梁の劣化度調査も実施し基準に満たない橋梁については強度の確保を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	事業費の把握に努め早期完成を図るための整備計画を作成する。

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	